

國弘正雄著「英語の話し方」を読む

- 「只管朗読」(しかんろうどく)を考える -

- ・ 精読 只管朗読 多読の流れがあるのを確認していただきたい。 P.49
- ・ <精読 只管朗読 多読>という流れが入試の勉強にもあてはまる。只管朗読とは、まさに復習の方法で、復習とはちゃんと身に付けることなのです。 P.96
- ・ 指導法の前に学習法がないといけません。まず、あることを身に付けるのに、どれくらいの時間と努力が必要か、その正味のところをきちんと割り出す。そこから(授業時間の)制約のもとでどれくらい可能かを考えていく。 P.213

國弘正雄著「英語の話し方」たちばな出版 1999年12月25日刊

- 2006年9月21日記 -